

## 引用文献

- ・ 揚野裕紀子, 曾谷貴子, 井田裕子, 浅原佳紀, 澤田由美 (2019). 公立中学校における生徒のこころの健康の現状 —教職員への意識調査から—. 日本看護学校学会論文集 ヘルスピロモーション, 107-110.
- ・ 朝日香栄, 青木紀久代 (2010). 思春期における友人関係の発達的变化の様相:一親友関係 Chumship の形成度ならびにメンタルヘルスとの関連から—. カウンセリング研究, (43), 182-191.
- ・ 井倉一政, 宮崎つた子 (2016). 困りごとに対する周囲の人的サポートと中学生の QOL の関連. 東海公衆衛生雑誌, 4, (1), 86-93.
- ・ 石隈利紀 (1999). 学校心理学—教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス, 誠信書房.
- ・ 得能彩子 (2017). 広島県教育委員会平成 29 年度教員長期研修成果報告 生徒のレジリエンスを高める教育相談の在り方 —教師によるソーシャル・サポートを通して—. 広島大学大学院心理臨床教育研究センター紀要, (16), 106-121.
- ・ 大賀肇 (2019). 児童精神科医療の現在地点 今後、医療者に求められる支援の形. 精神科看護, 46, (10), 4-8.
- ・ 金子善博, 井門正美, 馬場優子, 本橋豊 (2018). 児童生徒の SOS の出し方に関する教育全国展開に向けての 3 つの実践モデル. 自殺総合政策研究, 1, (1), 1-47.
- ・ 上長然 (2014). 思春期における相談行動と学校適応との関連 : 生徒指導・教育相談に活かす教師の相談援助. 佐賀大学教育実践研究, (31), 41-50.
- ・ 神田信彦 (2017). 中学生の悩みごとに関する研究 : 大学生の回想回答の検討. 生活科学研究 = Bulletin of Living Science, (39), 81-91.
- ・ 菊地紀美子, 二木はま子, 奥井現理 (2014). 児童生徒の心因性の健康相談に対して養護教諭が抱えている困難とその対応. 飯田女子短期大学紀要, 31, 89-114.
- ・ 木下弘基, 奥山玲子, 河合健彦, 鎌田隼輔 (2017). 不登校症例の後方視的調査から考える児童思春期ダイケアの役割. 児童青年精神医学とその近接領域, 58, (3), 398-408.
- ・ 警視庁 (2020). 令和元年中における自殺の状況.  
[https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki/jisatsu/R02/R01\\_jisatuno\\_joukyou.pdf](https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki/jisatsu/R02/R01_jisatuno_joukyou.pdf). [2020-05-02].

- ・ 厚生労働省(2017). 自殺総合対策大綱～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～. <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12200000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu/0000172329.pdf>. [2020-02-13].
- ・ 河野美江, 長廻久美子, 戸田稔子(2011). 思春期女性に対するメール相談の意義. 島根母性衛生学会雑誌, 15, 43-46.
- ・ 小針誠(2008). 中学生はスクールカウンセリングを利用しているのか? -心理主義化する現代日本社会における中学生の悩みとその相談先. 総合文化研究所紀要, 25, 26-40.
- ・ 坂口由佳(2013). 自傷行為をする生徒たちに対して学校はどのような対応をしているのか: 自傷行為経験者のブログから. 教育心理学研究, 61, (3), 290-310.
- ・ 阪中順子(2015). 学校における自殺予防教育 (特集 子どもの自殺をめぐる). 児童青年精神医学とその近接領域, 56(2), 190-198.
- ・ 佐藤美幸, 中村恵子, 塚原加寿子, 伊豆麻子, 栗林祐子, 大森悦子, 渡邊文美, 石崎トモイ, 西山悦子(2013). 子どもの心の健康問題における学校と外部機関との連携に関する研究. 新潟青陵学会誌, 6, (1), 71-78.
- ・ 柴橋 祐子(2001). 青年期の友人関係における自己表明と他者の表明を望む気持ち. 発達心理学研究, 12(2), 123-134.
- ・ 白井利明, 大谷宗啓(2017). 現代青年の友人関係は希薄化したのか:—青年バッシングという世代間格差に抗して—. 心理科学, 38, (2), 1-9.
- ・ 情報法制研究所 鳥海不二夫, 折田明子, 田代光輝(2018). 長野県における LINE を利用した子どものいじめ・自殺対策 『ひとりで悩まないで@長野』分析報告書. <https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/sodan/documents/hokoku.pdf> . [2020-05-02].
- ・ 須藤春佳(2012). 女子大学生が振り返る同性友人関係 -前青年期から青年期を通して-. 神戸女学院大学論集, 59(2), 137-145.
- ・ 総務省(2018). いじめ防止対策の推進に関する調査 結果に基づく勧告. [https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000538674.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000538674.pdf). [2020-02-13].
- ・ 総務省(2019). いじめ防止対策推進法. [https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws\\_search/lsg0500/detail?lawId=425AC10000000](https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=425AC10000000)

71. [2020-03-14].

- ・ 竹森啓子, 仲嶺実甫子, 佐藤寛, 下津咲絵(2018). 中高生の援助要請行動と他者配慮が適応感に及ぼす影響. 認知療法研究, 11, (2), 206-216.
- ・ 竹中烈(2016). SNS にみる子どもの対人コミュニケーションについての一考察:チャムグループ化する仲間集団、共依存症的な対人関係. チャイルド・サイエンス:子ども学, 12, 49-52.
- ・ 田邊綾子, 鶴田来美(2017). 中学生の友人関係の実態と友人関係構築に関する認識 思春期ピアカウンセリング講座実施時の調査から. 日本健康医学会雑誌, 26, (4), 241-247.
- ・ チャイルドライン(n. d.). チャイルドラインとは .  
[https://childline.or.jp/supporter/cl\\_center](https://childline.or.jp/supporter/cl_center). [2020-05-01].
- ・ 土井隆義(2014). つながり依存としてのネット依存 : 社会心理的な背景から現状を考える. 公衆衛生, 78, (7), 479-483.
- ・ 土井隆義(2013). 友だち地獄-「空気を読む」世代のサバイバル-. 思春期学, 31, (1), 22-31.
- ・ 東京都(2014). 若年層自殺実態把握調査 報告書.  
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/tokyokaigi/torikumi/kaigi/kaigi/kaigisiryu270320.files/H26haihubutu2.pdf>. [2020-05-16].
- ・ 内閣府(2020). 令和元年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果(概要).  
[https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/kekka\\_gaiyo.pdf](https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf). [2020-05-05].
- ・ 内閣府(2019). SNS を活用した相談事業の調査.  
<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/sns/r01/pdf/s2.pdf> . [2020-05-16].
- ・ 内閣府 (2018). 子供・若者白書(概要版) 特集1 日本の若者意識の現状～国際比較からみえてくるもの～.  
[https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/r01gaiyou/pdf/b1\\_00\\_01\\_01.pdf](https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/r01gaiyou/pdf/b1_00_01_01.pdf). [2020-05-02].
- ・ 永井智(2019). 援助要請スタイル間の差異に関する探索的検討 —援助要請過剰型・回避型の特徴—. 教育心理学, 67, (4), 278-288.
- ・ 長野県(n. d.). 令和元年度LINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」の実施結果

について.

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/sodan/documents/rljissihoukokusyo.pdf>. [2020-05-02].

- ・ 長光信一郎 久留米大学研究班(2016). 健やか親子 21 (第2次)を推進するための思春期の母性保健の向上を目的とした効果的な保健指導のあり方についての調査研究 中学生・高校生 2万人を対象にした思春期アンケート調査 【Adolescence】～わからないことがここにある～. [http://sukoyaka21.jp/puberty\\_survey\\_2017](http://sukoyaka21.jp/puberty_survey_2017). [2020-05-16].
- ・ 中村美穂(2017). 教師へのコンサルテーションにおいて高校教師がスクールカウンセラーへ期待する役割と機能. カウンセリング研究, 50, (2), 81-91.
- ・ 西恭平, 吉田圭吾(2019). 自傷行為をする中学・高校生は, 友人との関わりをどのように捉えているか: 自傷経験者のブログを用いて. 神戸大学発達・臨床心理学研究, 18, 43-52.
- ・ 細田絢, 田嶋誠一(2009). 中学生におけるソーシャルサポートと自他への肯定感に関する研究. 教育心理学研究, 57, (3), 309-323.
- ・ 堀内亮(2019). 児童思春期精神科病棟における発達障害支援 子どもの主体性を育むこと. 精神保健福祉, 50, (4), 299-301.
- ・ 本田真大, 新井邦二郎, 石隈利紀(2015). 援助要請行動から適応感に至るプロセスモデルの構築. カウンセリング研究, 48(2), 65-74.
- ・ 本田 真大, 新井 邦二郎, 石隈 利紀(2020). 援助要請の機能性の向上を目標とした行動的介入の試み — 援助要請スキルトレーニングの効果検証 —. 北海道教育大学大学院教育学研究科学校臨床心理学専攻研究紀要, (17), 11-21.
- ・ 松尾直博(2001). 中学生の自己価値・他者価値と社会的不適応との関係. 東京学芸大学紀要, 第1部門, 教育科学, 52. 111-114.
- ・ 松田修(2011). 首都圏の中学生の最近のメンタルヘルス問題. 日本公衆衛生雑誌, 58, (2), 111-115.
- ・ 水津孝紀, 児玉真樹子(2016). ソーシャルスキルが友人および教師との関係, 学業を媒介して学級適応感に及ぼす影響 : 高校生を対象として. 学習開発学研究, (9), 37-44.
- ・ 水野治久, 石隈利紀(1999). 被援助志向性, 被援助行動に関する研究の動向. 教育心理学研究, 47, (4), 530-539.
- ・ 文部科学省(2017). 平成28年度 自殺対策基本法第17条第3項に定める教育又は啓発

の実施状況調査結果概要.

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2018/09/11/1408027\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/__icsFiles/afieldfile/2018/09/11/1408027_001.pdf)

- ・ 文部科学省(2019a). 平成 30 年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について.

[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2019/10/25/1412082-30.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/10/25/1412082-30.pdf)

- ・ 文部科学省(2019b). 自殺予防教育と SOS の出し方に関する教育の整理表.

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/063\\_7/shiryo/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2019/02/21/1413739\\_005.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/063_7/shiryo/__icsFiles/afieldfile/2019/02/21/1413739_005.pdf)

- ・ 山本綾子(2016). ユース・メンタルヘルスサポートセンターMIEにおける子どもへの支援 若者精神保健相談を通じた精神保健福祉士の役割. 精神保健福祉, 47, (2), 113-115.
- ・ DePaulo, B. M(1983). Perspective on help-seeking. New directions in helping. Vol. 1 Recipient reaction to aid. New York: Academic Press, pp3-10.
- ・ Nock MK, Green JG, Hwang I, McLaughlin KA, Sampson NA, Zaslavsky AM, Kessler RC (2013). Prevalence, correlates, and treatment of lifetime suicidal behavior among adolescents: results from the National Comorbidity Survey Replication Adolescent Supplement. JAMA Psychiatry, 70, (3), 300-310.
- ・ Ogiwara Yuji(2016). Age differences in self-liking in Japan: The developmental trajectory of self-esteem from elementary school to old age. Evolutionary behavioral Science, 7, 33-36.
- ・ Okada Michiyo, Suzue Takeshi, Jitsunari Fumihiko(2010). 高校生の対人関係とメンタルヘルスの相関(Association between interpersonal relationship among high-school students and mental health). Environmental Health and Preventive Medicine, 15(1), 57-62.